

大学コンソーシアムやまがた幹事会（平成24年度第14回）議事録

日 時 平成25年3月5日（火） 15:30～17:00

場 所 ゆうキャンパス・ステーション及びTV会議室

出席者 委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 花岡 孝（東北芸術工科大学）

金内 良一（保健医療大学）

委 員 矢口 清（事業評価委員会委員長／山形大学）

栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

田中ふみ子（羽陽学園短期大学）

瀬川 透（鶴岡工業高等専門学校）

保角 里志（放送大学山形学習センター）

藤原 茂樹（産業技術短期大学校）

岸 善一（農業大学校）（TV会議室）

後藤 紀夫（山形県）

勝見英一朗（山形工科短期大学校）

欠席者 副委員長 草苺 信博（米沢女子短期大学）

大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 平松 緑（東北公益文科大学）

議事に先立ち、本日の議事録署名人を山形大学 栗山委員と放送大学山形学習センター保角委員にお願いしたい旨提案があり、了承された。

引き続き、委員長から、その他の事項に関連して山形大学小白川キャンパス事務部図書課石山副課長が説明者として出席している旨紹介された。

[報告事項]

1 平成25年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書について

事務局から資料1に基づき報告があった。

（主な意見交換内容）

- ・大学間連携共同教育推進事業関係あるいは受託事業分の収支予算については、文部科学省からの通達の関係で遅れているものと理解するが、幹事会審議事項として、速や

かな提案を行う必要があったのではないか。また、大学間連携共同教育推進事業は、連携校・連携機関との間で実施する事業であり、本幹事会とは別に、各機関との調整を行った上で文部科学省に提出すべきではなかったのかと思料します。

→本来、ご意見の通りの手続きが必要だったと考えております。今後、気を付けて手続きを行います。

[協議事項]

1 平成25年度事業計画（案）及び2 平成25年度収支予算（案）について

前回の幹事会で継続審議としていたが、山形県立保健医療大学 金内副委員長より意見があり、意見の説明を資料2に基づき行った後に、修正した平成25年度事業計画（案）及び平成25年度収支予算（案）について事務局より資料3～資料5-5に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。なお、収支予算案の一部については、多数決で了承された。

（主な意見交換内容）

平成25年度事業計画（案）について

- ・前文の下段文に、「特に、山形大学より受託する大学間連携共同教育推進事業については、コンソーシアムの設置目的に極めて合致した事業であることから、最重要事業と位置付けて、強力に実施していく。」を加えてはいかがか。
→修正します。
- ・「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の第2項中第1号（やまがた夜話）について、「5月～2月」を「隔月」としてはどうでしょうか。中心となる山形大学教授先生が大学間連携共同教育推進事業の中核的存在であり、業務の集中より、軽減・平準化を図ることがよろしいと考えるものである。
→ゆうキャンパス・ステーションの立上げ時より行っている事業で今年度も500名以上の参加者がいる。ニーズがある事業のため従前どおりの開講で実施していきたい。
- ・「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の第2項中第2号（その他、各種講習会・イベントの企画・実施（括弧例示書きを含む））を削ってはいかがか。24年度実績が皆無であり、また、25年度においては、大学間連携共同教育推進事業関係の諸事業やイベント等が開催されることが予想され、事業展開の重点化を図るべきである。
→子供支援事業及びビブリオバトルについては今年度、ゆうステを会場に実施されたイベントであり、来年度は企画会議事業として 大学間連携共同教育推進事業関係の諸事業やイベント等とは別に実施していきたいと考えております。
- ・「紀要等の電子化公開支援事業」の本文を「構成校の紀要等をゆうキャンパス・リポジトリにおいて、電子化して公開していく。」に改めてはいかがか。より実態を正確に表す表

現とするものである。

→修正します。

- ・「広報事業」中第2号（ゆうキャンパスホームページ等の充実・管理）中「ゆうキャンパスホームページ等の充実・管理」を「ゆうキャンパスホームページの充実・管理」に改め、本文中「ほか、ブログ、twitter等」を「とともに、内容」に改めてはいかがか。周知・広報媒体としては、ホームページで十分であると思われる。また、ホームページにおいては、特に企画会議等の議事録公表がなされていないなどがあり、また、25年度以降は、大学間連携共同教育推進事業関係の諸事業やイベント等の開催情報の周知など業務多端が予想されることから、まずは、ホームページの充実に主力を注ぐことがよろしいと思うものである。なお、この場合であっても、可能な範囲ではブログ等の充実を禁ずるものではない。可能であれば、義務的にではなく、対応することは良いことと思われる。

→情報発信は重要ですのでそのまま残します。

- ・「広報事業」中第3号（ゆうステの充実）を削ってはいかがか。現状で相当程度充実は進んでいるものと思われ、敢えて、計画に記載せずに、平常業務の一環として行っていけばよろしいものとする。また、計画に記載すれば、義務的に何か行うような意識となってしまうと思われ、それよりは、自然体で運営し、何かアイデアや意見・提案があれば、随時、臨機に対応していく方が良いと思われる。

→意見が分かれる部分とはおもいますが、せっかく、高等教育宣言のもとに立ち上げたセンターですのでそのままとさせていただきます。

第2期事業計画の修正について

- ・第3項第2期事業計画の表の事業評価の項25年度の欄中「評価」を削り、同項26年度の欄に「評価」を加えてはいかがか。平成23年度に実施予定であった事業評価が今年度に22年度及び23年度の事業を対象に実施されたこと、この評価結果を参照に25年度事業が計画されること、並びに25年度実施予定の評価は実施するとすれば24年度事業のみが対象となり意義が薄いものとなると見込まれること等に鑑み、評価を26年度に1年先送りして実施するために提案するものである。この場合、26年度実施の評価は24年度及び25年度に実施された事業が対象とされることが見込まれ、その結果を26年度早期に作成することにより、第3期事業計画の検討に資することができるものである。

→ご意見ありがとうございます。意見のとおり修正します。

平成25年度収支予算（案）について

- ・収支予算を（負担金分）、（ゆうキャンパス・ステーション運営費）に分割したことは大変よろしいと思います。併せて、大学間連携共同教育推進事業関係あるいは受託事業分として計上されることを提案します。収支予算中収入において、使途が性質的に限定されているものについては、それを明確にして、特別会計的に予算計上し、執行管理していくこと

が適当と思うものであります。

→対応が遅れましたが今回提案させていただきます。

- ・機関負担金（会費）（案）については、異存ありません。
 - ・ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金（案）については、異存ありません。ただし、（ゆうキャンパス・ステーション運営費）収支予算において、所要額を計上した場合、当初予算より赤字予算となるのであれば、再考を要するものと思われます。なお、本学としては、本負担金は支出できないので、本来は是非を論ずる資格が無いものとも思いますが、負担金分収支より持ち出すことになることは是認できませんので、その際は、反対意見を明確にいたします。
- 例年実施してきた処理であります、別途310,000円を拠出する財源はないのが現状です。

収支予算書（負担金分）（案）について

- ・「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の「各種イベント」の項を削り、同項の内訳額は2段上の「共通経費」に団体させ、250,000円としてはいかが。各イベントについては、その成算の関係から、事業計画から削除することに伴い、予算書に所要の修正を加えるものである。なお、年度途中に、何らかのイベント等を実施する必要が生じた場合は、共通経費から支出すれば良い。
- 機関負担金を1割削減した総予算の中で事業を実施していきますので、イベント等を実施する場合は、共通経費から支出させていただくことで了承いただきたい。また、[高等教育山形宣言]プロジェクトの経費を150,000円増額し、600,000円とさせていただきます。
- ・「大学コンソーシアムやまがた運営費」の「アドミニストレイティブ・アシスタント雇用経費」の項を削り、同項の内訳額は予備費に団体させていただきます。本支出は、ゆうキャンパス維持・管理のためのものであることは明白であり、ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）に計上すべきものである。
- この経費は、土日・夜間に勤務いただく学生アルバイト経費として計上させていただいていた。削除します。
- ・収入に「繰入金」の項を起し、310,000円を計上し、備考に「24年度支出に係るゆうキャンパス・ステーション運営費収支からの返戻繰入」と記載するとともに、支出の予備費に同310,000円を加算してはいかが。25年2月12日に幹事会で議決された24年度補正予算において、25年度分のゆうキャンパス賃料等のための支出額が補正されたものであり、25年度分のゆうキャンパス・ステーション運営費は、25年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）より返戻されるべきものである。
- 現状では、捻出する財源が見当たらず提案に沿うのは難しいです。

ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）について

- ・支出に、「繰出金」の項を追加し、310,000円を計上し、備考に「25年度分経費支出に係る負担金分収支への返戻繰出」と記載してはいかがか。25年2月12日に幹事会で議決された24年度補正予算において、25年度分のゆうキャンパス賃料等のための支出額が補正されたものであり、25年度分のゆうキャンパス・ステーション運営費について、負担金分収支に返戻する必要があるものである。

→現状では、捻出する財源が見当たらず提案に沿うのは難しい。

- ・「アドミニストレイティブ・アシスタント雇用経費」の項を起し、所要額を計上してはいかがか。ゆうキャンパス維持・管理のためのものとして、計上し、審議の対象とすべきである。なお、本学・小職としては、本経費は当面は不要と考えるが、事務局・委員長より提案を受け、慎重に審議すべきところである。おって、本意見が、この経費の支出に賛成していることを示すものではない。本学としては、ゆうキャンパス・ステーションの設置・運営に対して、賛成しておらず、本収支については、基本的に棄権する。また、負担金収支よりの繰り出しについては、実質的に、ゆうキャンパス・ステーションの設置・運営を経費負担していることとなり、不本意であることから、そのような場合は、ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）に対して修正意見を申し上げ、修正等無い場合は、反対せざるを得ないものである。

→この経費は、土日・夜間に勤務いただく学生アルバイト経費として計上させていただいていた。削除します。

- ・上記①及び②の両項目加筆により、単純には収支総額が一致しなくなるので、710,000円の収入増を図るか、実施事業内容を見直し、支出を項目削除や所要額減額の必要があることを付言させていただく。なお、ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）の収入不足分を負担金分収支予算書（案）より充当することは絶対に止めていただきたい。ゆうキャンパス運営についての負担金支出の是非は各構成校の随意に任せられるものであることは基本的事項として申し合わされ、厳守されてきた事項である。ゆうキャンパスの維持管理に要する経費について負担金収支より直接支出することは当然、会計間を流用・繰り替えさせて間接支出することも、結局は、ゆうキャンパス維持・管理に経費支出するものであることは明らかである。こうした細工をすることは、実質的に、ゆうキャンパスの維持管理に負担金支出をしない旨意思表示している構成校に間接的に維持管理に要する経費を支出させるものであり、極めて不適當・不適正なものである。よって、こうした細工は採ってはならないものであることは明明白白である。

→7機関からの負担金だけでは運営が行えないため、予備費からの支出を認めていただき、例年実施したものである。25年度においても、不足額が見込まれるため意見は受け入れられませんので提案通りの予算とさせていただきます。

- ・310,000円のゆうキャンパス収支会計から機関負担金収支会計への戻入については、本大学（県立保健医療大学）としての意見であり、戻入財源が無いとの回答については個人的には無理からぬかと思いつつも、当局修正提案に直ちに賛成とは言え

ない。多数決で幹事会議決として総会に提案することは議事進行として了解する。この場合、本幹事会として「可能な状態となれば、当該繰入金相当額を機関負担金会計に戻入するような補正を行う方向とする」旨を申合せるとともに、総会において、その旨提案説明の中、あるいは議長たる会長より付言していただければよろしいのではないか。

→了解しました。

- ・提案説明を伺う範囲では、今後とも、毎年度末にゆうキャンパス・ステーションの賃借料1月分である310,000円程度の不足が生じて、機関負担金収支からの繰り入れが常態化することが懸念される。本学（県立保健医療大学）としては、ゆうキャンパス・ステーションの賃借継続については賛成していないところであるが、仮に多数決で継続が決まったとしても、構造的な赤字収支会計となることはいかなるものかと考える。また、全構成校がゆうキャンパス運営負担金を実質的に負担し続けることも問題である。そろそろ抜本的かつ真剣に、賃借の是非も含めて検討すべきところに来ているのではないか。

→（委員長）本ゆうキャンパス・ステーションの賃借が必ずしも未来永劫続くものとは思っていない。山形大学でも、他の構成校でも、それぞれの執行部等において対応の考え方が変更・改善していくことはありうると思う。賃借継続については、真剣に検討し、協議していくべきことであると認識する。

3 山形県（「起業支援型地域雇用創造事業」に係る基金事業）からの受託事業について

事務局より資料6に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。

（主な意見交換内容）

- ・平成25年度事業計画前文の下段文に、「特に、山形大学より受託する大学間連携共同教育推進事業については、コンソーシアムの設置目的に極めて合致した事業であることから、最重要事業と位置付けて、強力に実施していく。」を加えたところであり、業務処理量に照らして、事務局で対応できるのか？特に、事業採択に向けた申請書・事業計画書作成は、ほとんど事務局の負担となることは、今年度の実績等に照らすと、ほぼ明らかである。受託すること自体は良いとしても、全体的最適を考えるべきではないか。今更事務局で無理ですとは言わないと思うが、コンソーシアム全体として考えるべきではないか。

→平成24年度は山形大学の継続雇用職員1名及び県の委託事業担当職員1名を含めた4名体制で事務局を運営しているが、平成25年度は2名体制で行うことが想定されております。今回の事業を受託させていただければ2~3名程度の職員を採用する事が可能であり、事務量は増えることになるがマンパワーを活かしていきたい。

- ・事務局長より、積極的に取り組んでいくと言われれば、受託自体は良いことと思うので、

反対するものではない。ここで希望だが、企画会議で担当することとなる受託事業については、企画会議構成の各先生方もおかれても、思案・検討・提案するとともに、実際に、ペンを御取りになり、パソコンのキーをたたかれて、諸計画書等の御執筆をしていただくと、事務局の負担も軽減されると思われしますので、特の御配慮あらんことを望むものです。

→(委員長)企画会議の先生方には、現に、そのようにお願いしたいと思う。

・事業の新規性が問われることになるが、高等教育機関連携情報発信事業に新規性はあるのか？

→過去に県が同様の事業をコンソーシアムには委託していないため、新規性は確保される。なお、具体的内容については企画会議で揉んでいく必要があると考えている。

・プロスポーツと大学との連携による地域活性化推進事業で採用された職員の勤務場所はどこか？受け皿でしかないのではないか？

→ゆうキャンパス・ステーションで勤務いただく。

[その他]

地域共同リポジトリ「ゆうキャンパスリポジトリ」の構築と提案について

山形大学小白川キャンパス事務部図書課 石山副課長より机上配布資料に基づき提案があり、諮られた結果、各加盟校の図書担当者により協議を行うことで了承された。

(主な意見交換内容)

・国立情報学研究所(以下、N I Iという)では、山形県立産業技術短期大学校などの文部科学省認可以外の機関の紀要等の電子化にも対応してくれるのか？

→確認します。

・山形大学はN I Iに移行したいというスタンスでよろしいか？

→既存サーバーの老朽化や業務が後手に回っており、N I Iに移行したいと考えている。

・3月29日の参加の同意・回答は各機関からになるのか。

→各機関事の参加の同意になるので、了承いただければ来週以降に各加盟校の図書担当者による協議の場を設定させていただきたい。

平成24年度事業計画と収支予算の修正について

金内副委員長より、24年度事業計画の補正的改正、同収支予算の補正について、本幹事会として意思統一し、総会に提案することとし、その内容については、現時点で実施できていない事業について、削除することとした以下のおりの提案があり、了承された。この場合、幹事会案の具体的な字句・表現については委員長に一任することとされた。

- 1 24年度事業計画の補正的改正について
 - ① 「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の第2項中第4号（その他、各種講習会・イベントの企画・実施（括弧例示書きを含む））を削ってはいかがか。
 - ② 「連携事業」の第2号（ゆうキャンパス連携事業）を削り、同第3号を同第2号としてはいかがか。
- 2 24年度収支予算の補正について（第3号）
 - ① 連携事業の項の予算額を130,000円に改め、内訳「ゆうキャンパス連携事業」の項を削り、予備費に50,000円を加算してはいかがか。以上
→貴重なお意見をありがとうございます。事業計画及び収支予算について所要の補正案を作成し、総会に幹事会案として提案するとともに、事業報告と決算報告は補正後の事業計画と収支予算に対応した内容で調整させていただきます。

以上

【配 付 資 料】

資料 No. なし

幹事会委員名簿


大学コンソーシアムやまがた会則

平成24年度 大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録（平成25年2月12日）


- 資料1 平成25年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）調書
- 資料2 平成25年度事業計画（案）及び平成25年度収支予算（案）に対する意見（山形県立保健医療大学）
- 資料3 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画の概要（修正案）
- 資料4 平成25年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書（修正案）
- 資料5-1 平成25年度機関負担金（会費）（案）
- 資料5-2 平成25年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金（案）
- 資料5-3 平成25年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書（負担金分）（修正案）
- 資料5-4 平成25年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書（案）
- 資料5-5 平成25年度山形人材育成委員会収支予算書（案）
- 資料6 「起業支援型地域雇用創造事業」に係る基金事業の概要
- 机上配布 地域共同リポジトリ「ゆうキャンパスリポジトリ」の構築と提案について

議事録署名人

山形大学理事・副学長

安田弘法 

山形大学理学部教授

栗山恭直 

放送大学山形学習センター事務長

保月里心 